

表 8-高 E.FORUM スタンドアード (第 1 次案) : 高等学校家庭科 (北原琢也編集)

小学校・中学校・高等学校家庭科 (方法論に関する包括的な「本質的な問い」) :
・どうすれば、生涯を通じてより望ましい生活を創造することができるのか。

高等学校家庭科 (方法論に関する「本質的な問い」)
・どうすれば、よりよい生活を創造することができるのか。
(どうすれば、生涯の見通しをもって、家庭生活及び市民生活を創造することができるのか。)

内 容	人の一生と家族・家庭及び福祉	生活の自立と及び消費と環境	ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動
内容の本質的な問い	・どうすれば、自分の一生をとらえることができるのか。 (生涯発達の視点とは何か)	・どうすれば、生涯を通して快適な生活を送ることができるのか。 (理想とされる生活とは何か)	・どうすれば、生活を改善・向上することができるのか。
高等学校 (家庭科基礎)	本質的な問い	・どうすれば、青年期の自立を確立できるのか。 (青年期の自立とは何か)	・どうすれば、高齢者のよりよい介護ができるのか。 (高齢者介護問題とは何か)
	永続的理解	・青年期における自立した生活を営むためには、自己理解をはじめ、心身の自立や生活者としての自立、人間関係の調整、職業選択への見通しとその準備、仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)、男女の平等と相互の協力などの課題を、生涯を見通した中で青年期をどのように生きるかを具体的に考え、適切に意思決定し、責任をもって行動できるようにすることである。特に、歴史的、文化的、社会的制度としての家族について理解し、固定的な性別役割分業の意識を見直し、相互の尊重と信頼関係のもとで夫婦関係を築き、共に協力して家庭をつくることの意義や重要性を認識することである。	・高齢者をよりよく介護するためには、家族だけで支えるのではなく、社会みんなで支えるものであり、介護福祉サービスは、支えたい人を支えられる制度であることを理解することである。これまで家庭科で学習してきた内容である家族間の人間関係形成を基本にした家族の協力・気遣い、家事技能とその仕事分担や生活時間の調整を図り ¹⁾ 、介護福祉サービスを理解し、学習で習得した知識・技術を学校生活や地域の生活の場に活かし、「在宅介護」と「施設介護」をうまく組み合わせて、よりよい介護を行うための具体的な改善策を考察し、その評価を含めた内容を発表することである。
課題例	〔課題例 1〕【「青年期の自立」を発表しよう！】 ・あなたは「キャリア発達シンポジウム」で、「青年期の自立」を発表することになりました ²⁾ 。「ライフキャリアレインボー (ドナルド・E・スーパ理論) ³⁾ から、まず、今の自分は人生のどの時期にいるのかを考え、生涯を見通した中で青年期及び将来をどのように生きるかを、以下の役割から発表してください。 〔青年期の主な役割〕 ◇ 子ども、学生、余暇を楽しむ人、職業 〔将来の主な役割〕 ◇ 配偶者、家庭人、親、市民	〔課題例 2〕【理想的な朝ご飯をつくらう！】 ・あなたは「朝ご飯づくりコンテスト」に参加し、「食事バランスガイド (農林水産省)」を活用して、自分が理想的だと考える朝ご飯づくりを発表することになりました ⁴⁾ 。 発表の内容は以下の通りです。 ◇ 青年期の欠食率とその理由 ◇ 朝食欠食の身体的な影響 ◇ 理想の朝ご飯 (主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の目安量) ◇ 朝ご飯のテーマ・レシピ ◇ 短時間で調理でき、食欲がないときでも食べられる内容 ◇ 調理実習の計画内容及び調理 ◇ 朝ご飯の披露、発表、試食、後片付け等	〔課題例 3〕【将来の高齢者介護の在り方を考えよう！】 ・あなたがたは、NHK 高校講座のビデオ「支え合う社会をめざして～福祉システム～」 ⁵⁾ を見て、テーマ：「高齢者介護の将来の在り方」を〇〇市民フォーラムで発表することになりました。 発表の内容は、「在宅介護」と「施設介護」をうまく組み合わせて行うためには、どのような要素が必要なのかです。各自の生活及び学校や地域の生活の中から課題を見付け、その課題の解決をめざして計画を立て、これまで学校で学習してきた家庭科学習を活かして、具体的な改善策を (試みた結果) 発表してください。

1 山本圭郎・山野京子・入江和夫『高校家庭科の高齢者介護に関するロールプレイ教材開発』山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第 25 号 (2008.3), 201-212 頁。
2 荒井紀子編著『パワーアップ! 家庭科』大修館書店, 2012 年, 120-122 頁の「5. 安心して心豊かに暮らせる社会とは」を参考にして北原が作成。
3 中学校・高等学校進路指導資料第 1 分冊 (文部科学省), 2000 年。
4 荒井紀子編著『パワーアップ! 家庭科』大修館書店, 2012 年, 110-112 頁の「2. テーマをもって朝ご飯を作ろう」を参考にして北原が作成。
5 NHK 高校講座 (家庭総合), 第 13 回 [社会と福祉] 「支え合う社会を目指して～福祉システム～」, 2013.7.11 放映。